様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２０２６年　６月　１８日

栃木県知事
　　福田　富一　　様

提出者
住　所　栃木県小山市横倉新４００
氏　名　株式会社小松製作所小山工場
　　執行役員工場長　鎌田　剛
電話番号０２８５－２８－８１１０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社小松製作所小山工場
事業場の所在地	栃木県小山市横倉新田４００
計画期間	２０２６年4月1日 ～ ２０２７年3月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設機械・鉱山機械製造業　［２６２１］
②事業の規模	製造品売上額　２，６７８億円/年　（２０２５年度）
③従業員数	３，５１２人　　（小山+栃木）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１-①～④のとおり

（日本工業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">（管理体制図）

別紙２のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　２０２５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙３のとおり t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>別紙３のとおり t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>①現状</td><td colspan="2">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="2">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙４のとおり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　２０２５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　２０２５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙４のとおり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　２０２５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　２０２５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙４のとおり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>別紙３のとおり ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙４のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

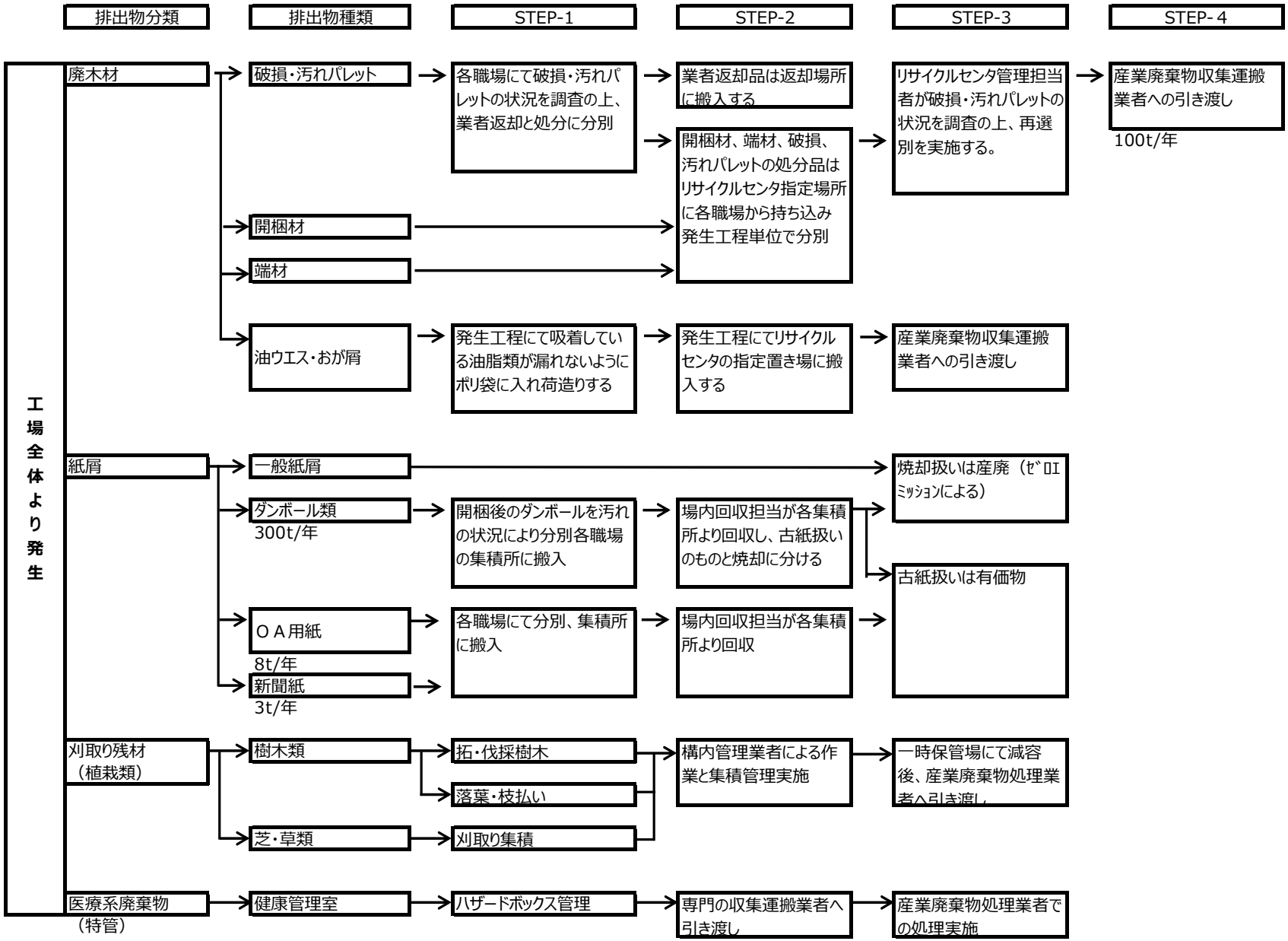
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1-①

小山工場における排出物処理の現状について

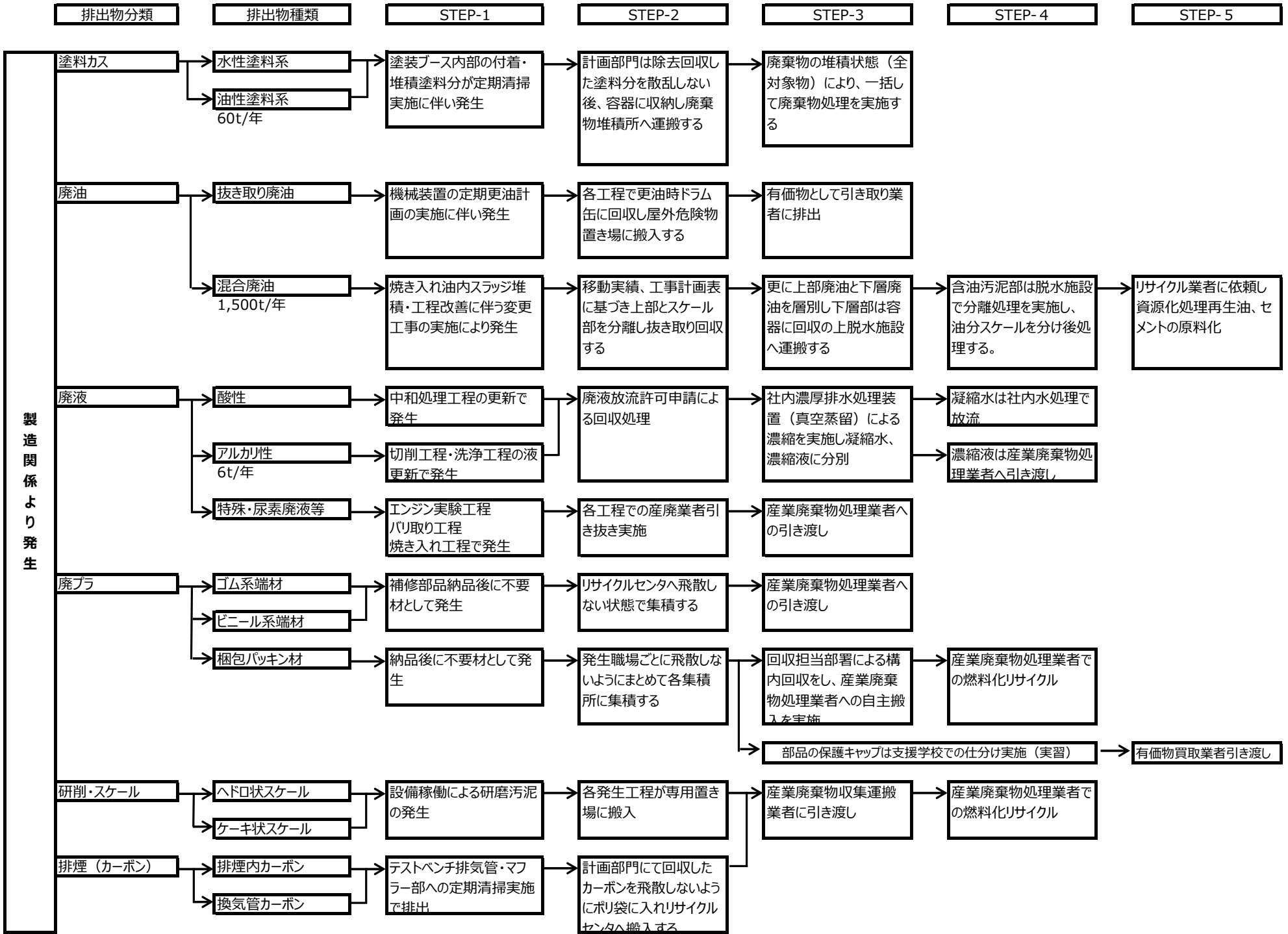
＜現状の排出物回収フロー＞



別紙1-②

小山工場における排出物処理の現状について

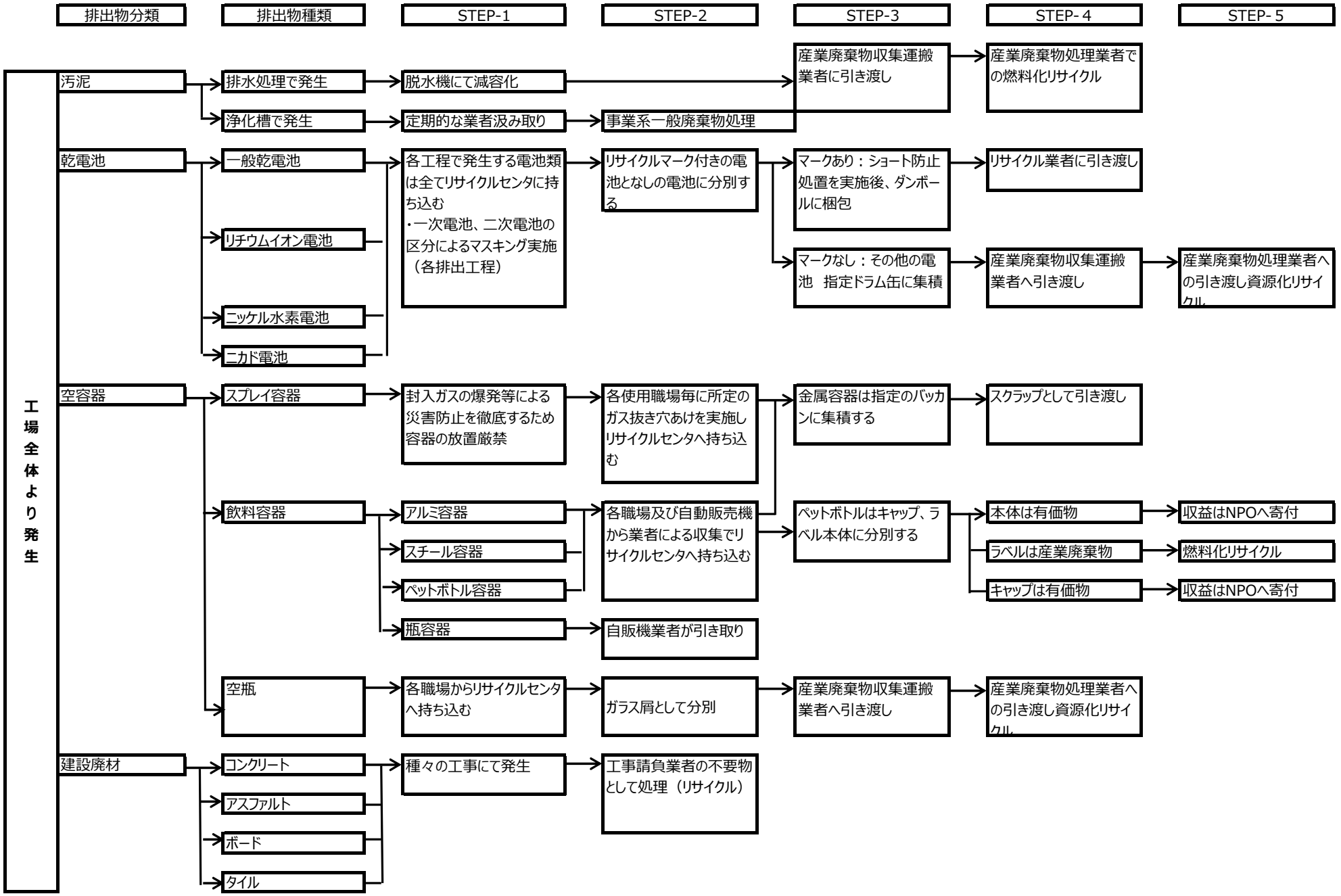
＜現状の排出物回収フロー＞



別紙1-③

小山工場における排出物処理の現状について

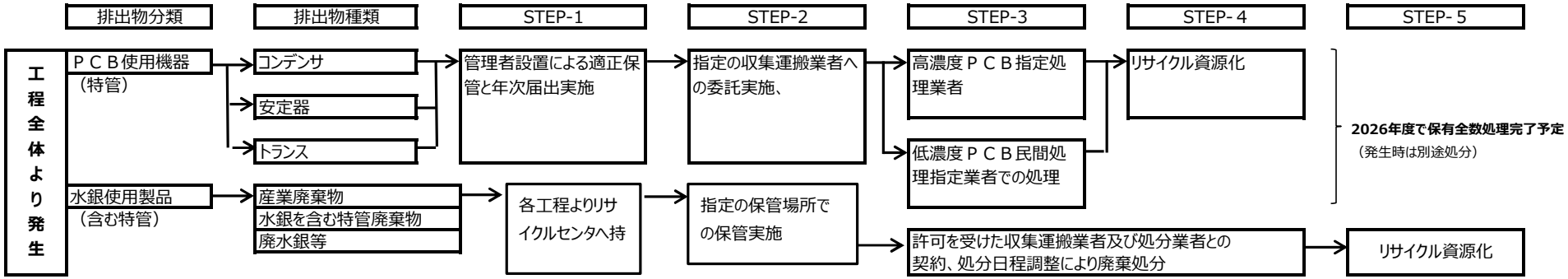
＜現状の排出物回収フロー＞



別紙1-④

小山工場における排出物処理の現状について

＜現状の排出物回収フロー＞



別紙2

産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項

(1)責任者及び管理組織図

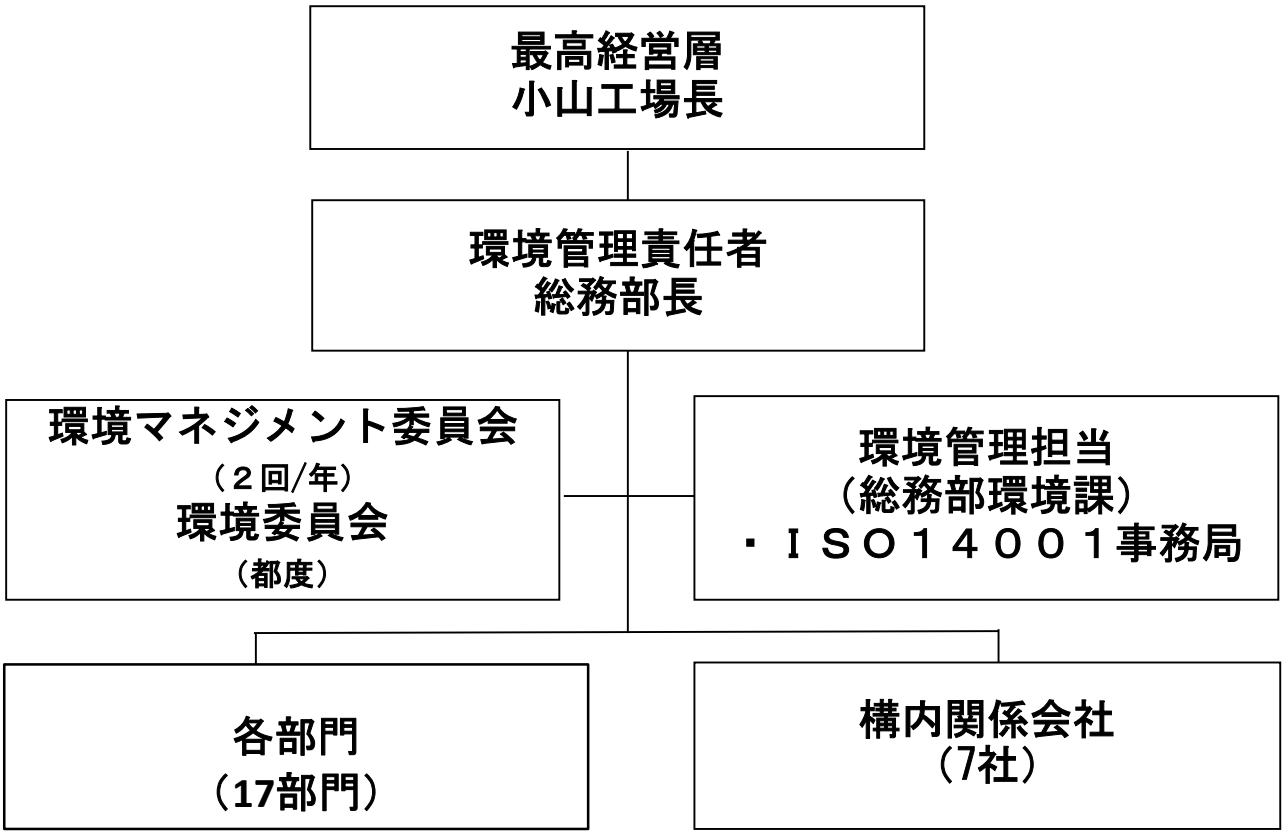
統括責任者		所　属 :(株)小松製作所小山工場　　職名:執行役員工場長
廃棄物担当		組織名 :総務部 環境課　　職名:環境課長 組織人数:11人
役割	工場環境管理委員会 (総務部長)	○環境管理全般に関する検討(廃棄物処理含む) 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、処理費用等の計画的な管理運営を行う上での必要事項の検討をする。 ・委員長－総務部長　・委員－関連部署部長・G長 ・事務局－総務部環境課　・開催頻度 都度　全体会議2回/年
	廃棄物処理統括責任者 (環境課長)	○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規則の改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 ○ゼロエミッション活動の推進と減量化の推進
	廃棄物管理担当者 (環境課長)	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他廃棄物に関係する事項

廃棄物管理組織

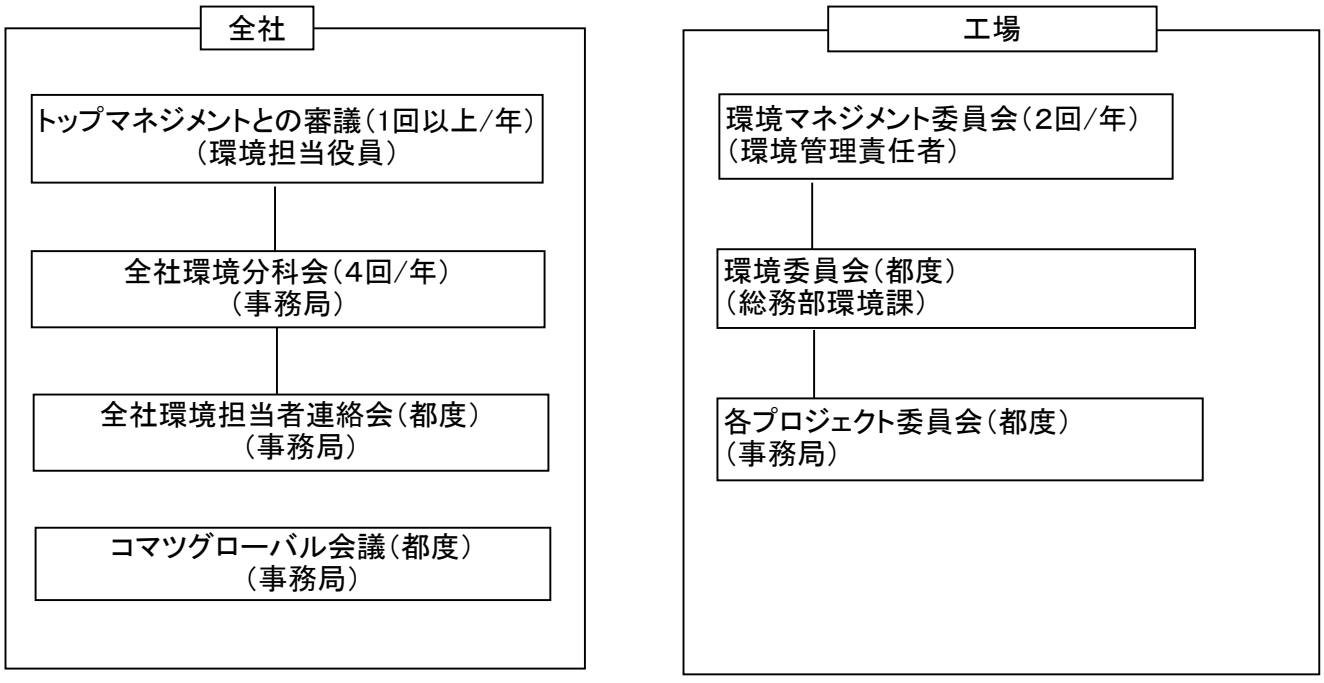
別紙2-添付①を参照

コマツ小山工場（含む栃木工場）の環境管理体

推進組織と会議体



環境関連会議



別紙3

2025年度実績値及び2026年度目標値

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	汚　泥		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類		ガラス・コンクリ・陶磁器クズ		金属くず		廃油		廃アルカリ		木くず		廃酸	
	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）
排出量	1813	1795	360	357	11	11	1	1	1503	1488	6	6	97	96	0	0
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1503	1488	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	310	307	360	357	11	11	1	1	1494	1479	6	6	97	96	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	310	307	241	239	0	0	1	1	1494	1479	6	6	58	57	0	0
再生利用業者への処理委託量	310	307	97	96	11	11	0	0	1494	1479	6	6	97	96	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	41	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	222	220	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3

2025年度実績値及び2026年度目標値

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	がれき類													
	実績[t]（2025年度）	目標[t]（2026年度）												
排出量	2	2												
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0												
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0												
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0												
自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0												
全処理委託量	2	2												
優良認定処理業者への処理委託量	0	0												
再生利用業者への処理委託量	2	2												
認定熱回収業者への処理委託量	0	0												
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0												

別紙4

産業廃棄物発生量とリサイクル・減量化計画（2026年度）

2026年6月1日　コマツ小山工場　総務部環境課

NO	廃棄物名称	発生部門	2025年度発生量（ton）	これまでに実施した取り組み		今後実施する予定の取り組み				
				現在の処理方法	有効利用区分	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	産業廃棄物の分別に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項
①	汚　泥 ①水処理汚泥	環境課 （脱水機）	111	混合	ｾﾒﾝﾄﾒｰｶで燃料	脱水機の更新実施（2017年度済）	別紙4の添付①,②によります。（継続活動）	該当せず	多重円盤方式脱水機による（発生量△85%汚泥低減継続）	ｾﾞﾛｴﾐｯｼｮﾝ活動の継続による処理業者への委託
	②汚泥	製造工程 （清掃時）	66	混合・混練	ｾﾒﾝﾄ原料	減量化の方法を検討 ｽﾎﾟｯﾄ排出分を除いて計画			該当せず	
	③食堂ｸﾞﾘｽﾄﾗｯﾌﾟ	食堂	26	脱水	肥料化	微生物による減量化の研究				
	④汚泥(研磨ｶｽ・ｼｮｯﾄ粉)	製造研磨工程	107	圧縮・圧縮固化・原料化	再生資源、溶高炉調整剤	油分除去方法の研究				
②	廃　油	製造工程	1494	油水分離・中和処理 真空蒸留装置	ｾﾒﾝﾄﾒｰｶで燃料	濃厚廃液処理の処理方法変更による低減 良油有価売却先の検討、分別の徹底			真空蒸留装置運用による減量化（発生量△80%低減継続）	
			0	焼却						
③	廃　酸		0						該当せず	
④	廃プラスチック ①ﾋﾞﾆｰﾙ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ 油圧ﾎｰｽ・ﾀｲﾔ・履帯	組立・物流 製造	95	破砕・溶融固化	･ﾎﾞｲﾗｰ燃料、鉄鋼炉燃料	梱包荷姿の改善 分別による有価物化（3%） （圧縮梱導入　23/12～）				
	②塩ﾋﾞ手袋 　シート類、安全靴	製造・物流 全般	166	焼却(ｻｰﾏﾙﾘｻｲｸﾙ) （ゴミ発電用燃料）	燃料（ゴミ発電）	破砕減量方法の研究 （ﾘｻｲｸﾙ軍手、ウェスの導入検討） ＊全職場に導入				
	③パソコン等	全工場	1	破砕・粉砕	再生資源	分別解体による有価物回収量の増大				
	④廃プラ(塗料カス)	塗装工程	98	焼却(ｻｰﾏﾙﾘｻｲｸﾙ)	燃料(油水分離の助燃剤)	微生物による減量化の研究				
⑤	廃液・廃薬品類 廃ｱﾙｶﾘ・廃酸	試験研究	6	中和・脱水処理	焼却（資源燃料）	試験研究時の使用量低減				
⑥	木くず	物流工程	97	選別破砕	再生資源 （製紙原料、合板原料、燃料）	梱包荷姿の改善（海外調達品の見直し） 木材パレットの廃止検討				
⑦	水銀使用製品 （蛍光灯､水銀灯）	全部門	0	分別破砕(再生資源化)	再生資源	充電式乾電池の使用拡大による 廃棄量の低減				
⑧	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘ・陶磁器・ｾﾗﾐｯｸ 砥石類	製造工程	11	資源回収	再生資源					
	フロントガラス		0	埋立						
⑨	金属くず	製造工程	1	分別破砕(再生資源化)	資源回収					
⑩	①がれき類	試験研究	2	破砕・粉砕	資源回収	分別の徹底				